

ちっぴり



私たちの理念

人と地球にやさしい、^{いのち}生命を慈しむ医療

私たちのめざす医療

- 1. 患者中心の医療**
生命の尊さにもとづき、患者や家族の権利を尊重し、心のかよう医療を行います。
- 2. 共生の医療**
地球環境にやさしい共生の医療をめざします。
- 3. 高度で安全なチーム医療**
安全性を確保し、高度で専門的なチーム医療の確立をめざします。
- 4. 地域と共に歩む医療**
地域医療機関との連携を密にした、継続性のある医療を行います。
- 5. 優れた医療人の育成**
教育機関として高水準の医療技術と思いやりを備えた医療人の育成に努めます。

第34号 久留米大学病院 広報誌 2018.11 No.034

- 放射線腫瘍センターの紹介
淡河恵津世 川田 秀道
- ロボット手術の時代が来た! 井川 掌
- ダヴィンチ手術を受ける患者の看護
松本 好美
- 診療科紹介DVDの作成
渡邊 浩
- 院内学級の紹介
石井加寿美
- 患者相談窓口のご案内



放射線腫瘍センターの紹介

～病院北館オープン～

放射線腫瘍センター

センター長 淡河 恵津世

放射線腫瘍センターが10月1日、新しく完成した病院北館にオープンしました。約50年の歴史がある前身の放射線治療センターは、老朽化と狭さにより、年々進化する放射線治療機器に対応できないということで、以前から新施設の必要性が検討されてきました。2014年12月末の理事会で移設が決定して以来、約4年の歳月を経て全く新しい施設と治療機器を設置できたのは、久留米大学の90周年記念事業として関係各位のお力添えがあったからと心より感謝しています。

治療施設は北館1階にあり、外来ならび病棟からは本館3階から移動できます。本館3階のCT・MRI検査室のやや右手に新しくできた通路を経てエレベータで1階に降りるとすぐなので、旧施設よりも便利になりました。また、外来通院の患者さんには専用駐車場と治療費まとめ払いで、時間の負担をできる限り少なくするよう配慮しています。

治療機器は治療室1に高精度リニアック治療装置（トゥルービーム）、治療室2にCTとリニアック治療機器が一体化したトモセラピー（ラディザクト）、温熱治療（サーモトロンRF8）を設置し、早期がんの根治治療から進行がんの緩和治療まで行えます。治療室1・2には天井に空が見えますので、閉鎖空間になりがちな放射線治療の暗いイメージは驚くほど変わりました。「空?」「窓があるの?」と思われるかもしれませんが、スカイファクトリー（※写真）という特殊な構造が組み込まれており、本物の空ではありません。

筑後地区では最高機種のがん治療機器をもって、放射線治療に特化したスタッフ（医師・物理士・品質管理士・診療放射線技師・看護師・受付・補助員）が高精度な治療を提供できるように頑張ります。



画像診断センター

技師長 川田 秀道

放射線治療の歴史は、レントゲン博士がX線を発見した1895年の翌年に乳がんや舌がんなどに放射線治療が試みられたことから始まります。当院では、1935年に深部治療用X線装置（島津製作所製博愛号）を導入し、1958年には当時の西日本最大の放射能であった⁶⁰Co遠隔治療装置（300Ci）を導入し放射線治療を行っていました。1967年に放射線治療センターが開設され、それまで外国産しかなかった直線型電子加速器の国産1号機を導入し、⁶⁰Coより短時間で皮膚の炎症が少ない治療ができるようになりました。以降、およそ50年の歳月を経て、病院北館の1階に最新の放射線治療装置2台を備えた放射線腫瘍センターが新たにできました。

現在当院の放射線治療は、最新の画像診断を使用した放射線治療計画を行い、副作用が少なくピンポイントで腫瘍を狙い撃ちする技術、定位放射線治療（SRT）や強度変調放射線治療（IMRT）を行っています。新しく導入された2台の放射線治療装置は、これまでの放射線治療センター50年の歴史の中で培ってきた放射線治療法をさらに発展させることができる装置となるでしょう。

Varian社製 TrueBeam（トゥルービーム）は、これまでの放射線治療を踏襲しながらも、高線量率で短時間の治療ができる他、ガントリを回転させながらIMRTを行うことができるなど、最新の治療技術を高精度で行うために必要な機能を全て凝縮した装置です。アキュレイ社製 Tomotherapy Radixact（トモセラピー ラディザクト）X9（※写真）は、九州初の装置であり、診断用X線CTと同じようにベッドが動きながら治療を行い、一度に最長135cmの範囲を治療できるのが特徴です。

これら最新の放射線治療装置を使用して安心、安全で久留米大学病院でしかできない高精度な放射線治療を患者さんに提供していきたいと思っております。



ロボット手術の時代が来た！

泌尿器科 主任教授 井川 掌

当院では、2016年6月から前立腺がんに対するダヴィンチXiによるロボット支援手術を開始し、現在まで約140例を実施しました。また2017年8月からは比較的小さい腎がんの部分切除術も開始し、既に30症例を超えました。さらに、泌尿器科以外でも今年2月から胃がん手術が開始され、今後、子宮がんに対する手術も開始予定となっています。このように今、外科手術の領域ではロボット手術が急速に普及しています。

背景には、さまざまな技術の進歩に加えてロボット手術の利点が広く認められるようになってきたということがあります。これまで外科手術の分野では腹腔鏡を用いた手術が数多く行われてきました。腹部を大きく切開して行う開腹手術に比べると、術後の痛みが軽減し回復も早くなりましたが、例えば前立腺がんの手術では術後合併症である尿漏れや勃起障害などが依然多く認められていました。

ロボット手術は内視鏡を使った手術であることに変わりませんが、大きな利点として、①拡大した非常に良好な3D（立体視）視野での操作②手振れが全くなく人間の手以上に細かい動きが可能、といったことなどが挙げられます。これにより、これまでの腹腔鏡手術以上に細かく正確な手技が可能になります。すなわち、術中・術後合併症の軽減や患者さんの生活の質の改善など治療成績の向上が期待できます。当院で運用する最上位機種であるダヴィンチXiには多くの有用な機能が備わっており、さまざまながんに対して柔軟に対応することができます。がん診療は、わが国における医療で最も重要な領域の1つであり、筑後地区におけるがんの外科治療に当院のロボット手術が大きく貢献できることが期待されます。



術者は離れたところで遠隔操作

ダヴィンチ導入による手術を受ける患者の看護について

中央手術部 森山 桐子 藤野 雅子
薙野 祐二 松本 好美

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（ダヴィンチ手術）は2016年6月に始まりました。

ダヴィンチ手術は、開脚した状態で約25度、頭を低くした姿勢での手術となるため、下腿の圧迫による神経障害や長時間の同一姿勢によるズレ、両肩への圧迫等の合併症のリスクが多く、手術中の看護の重要な課題となっています。両手は身体に沿わせ、両肩は専用の固定具を用いて身体が滑らないようにしています。下半身は深部静脈血栓予防のためフットマッサージ器を使用し、手術中に下腿の圧迫がないこと、足の血流に左右差がないことを確認し、神経障害を予防しています。また身体の位置を調整した後に、執刀医、麻酔科医師と共に身体のズレや圧迫がないことを確認しています。

手術用シーツは透明シーツを使用し、ダヴィンチのアームが患者さんの身体に接触していないか確認し、観察や保護を行っています。また、術中は低体温が予測され、碎石位では加温部位が限られるため手術時は身体の下に温風加温器を使用し保温に努めています。

中央手術部では、医師・看護師・臨床工学技士がそれぞれチームの役割を担っており、これらの職種のチーム医療であることを認識し看護を提供しています。



患者さん側に設置されたロボットアーム

診療科紹介DVDの作成

サービス改善委員会副委員長 **渡邊 浩**

当院には毎日1700人前後の方々を受診されており、特に混み合う時間帯には診察まで長時間お待たせすることがあり、大変申し訳なく思っております。サービス改善委員会はこれまで待ち時間の短縮に取り組んでまいりましたが、待ち時間を少しでも快適に過ごしていただくために、昨年度より待ち時間の有効活用についても検討するようになりました。

総合診療棟2階および3階に「休憩コーナー」を新設し、飲み物の自動販売機やさまざまな情報資料をそろえたリーフレットラック「健康の泉」を傍らに設置したのもその一環です。既に多くの受診者の方々に利用していただいているようで、とてもうれしく思っております。

当院では、多くの診療科が特徴ある診療をしています。おそらく皆さまは受診される診療科の診療内容をご存じかもしれませんが、他の診療科についてはあまりご存じないのではないのでしょうか。このたび、各診療科の診療内容のエッセンス（要点）を数分間ずつにまとめた診療科紹介DVDを作成しました。間もなく総合診療棟の各階にモニターを設置し、受診される方々が待ち時間などに見ただけできるようになります。

各診療科の診療内容、担当医の人柄や診療に対する思いについても分かりやすく作りましたので、どうぞご覧になってください。このDVDが当院の診療内容の理解につながり、多くの方々に気軽に受診していただけるきっかけとなることを願っています。



院内学級の紹介

院内学級 **石井 加寿美**

「入院していても学びたい」「友達とふれあいたい」。さまざまな願いの中で、今日も院内学級に子どもたちが通って来ています。遅れている勉強を取り戻そうと学習プリントに鉛筆の音を響かせたり、お茶や押し花など初めての体験にチャレンジしたりするなど、いろいろな学習活動を楽しんでいます。学級祭りでは、多くの方においでいただきありがとうございました。これからもみんなの笑顔を大切に仲間を輪を広げていきたいと思っております。

今年中に、院内学級は「病院北館1階」に引越します。新築でさまざまな設備を配備して学習しやすい環境を整えていただいていることに大変感謝しています。これまで以上に幅広い活動にチャレンジして、より楽しい学級にしていきたいと思っています。



教科の学習の様子

患者相談窓口のご案内

平成30年8月より、専任の窓口担当者を配置し常時対応できるようにしました。

設置場所：総合診療棟1階

（入退院手続き⑥番カウンター横）

相談時間：8：30～17：00

月曜日～金曜日（祝日等を除く）

例えば、このような時にご利用ください。

- ・診察、治療に関する心配や悩みごとについて
- ・入院、転院、退院について
- ・介護保険、在宅医療等について
- ・公費負担医療の社会福祉制度等について
- ・がんに関するよろず相談
- ・セカンドオピニオンについて
- ・認知症に関する相談

